

「こおりやまの米」通信

平成27年9月2日



郡山市
イメージキャラクター
「かくとくん」

編集：郡山市
JA 郡山市 (TEL. 921-0724)
NOSAI 郡山田村 (TEL. 933-3307)
県中農林事務所農業振興普及部 (TEL. 935-1310)
発行：郡山市農作物生産対策協議会 (郡山市園芸畜産振興課 TEL.924-3761)

Vol.8 適期刈取

1 生育概況

平年に比べ平坦部は、各品種とも稈長が平年並み、穂長は平年並、穂数は多くなりました。湖南地区は稈長が平年並み、穂長は平年並み、穂数は多くなりました。

出穂は、平坦部のコシヒカリが平年並み、ひとめぼれが平年より4日早い、天のつぶが平年より6日早い、湖南地区のあきたこまちが平年より4日早くなりました。ただし、同じ品種でもほ場条件や田植の早晚によって多少異なります。

いずれの品種も出穂は平年より早まりましたが、その後の低温により成熟は遅れ気味となっています。

地域	品種	出穂期		
		本年	前年(H26)	平年
平坦部	ひとめぼれ	8月1日	8月3日	8月5日
	天のつぶ	8月2日	8月5日	8月8日
	コシヒカリ	8月9日	8月9日	8月11日
湖南	あきたこまち	8月2日	8月4日	8月6日

※出穂期の平年値は、過去5年間の平均

2 天気予報 東北地方3か月予報 (仙台管区気象台 8月25日発表)

9月 東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

11月 東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

3 水管理 「乳白粒の発生を防止し、品質向上に努めましょう！」

落水時期は、出穂後30日を目安とします。早期落水は乳白粒を増加させるのでご注意ください。

ほ場が軟らかい場合は、排水溝を切ったり、間断かん水の水を入れない期間を長くとる等工夫してください。

4 適期刈取

～籾の黄化状況と積算気温から刈取り適期を判断しましょう！～

(1) 穂の黄化状況から見た適期

ほ場全体を見渡して平均的な株の穂の黄化程度を観察し、もみの80～90%が黄化した時期が刈り取り適期です。

ほ場によって黄化にムラがありますので、慎重に判断してください。



表 主な品種の出穂期と各積算気温の到達日

地域	主な品種の出穂期 (太字月日は郡山市での各品種の本年の出穂盛期)	8月30日までの積算気温(°C)	各積算気温の到達日*			
			950°C	1,000°C	1,050°C	
平坦部	8月1日	ひとめぼれ	691	9月11日	9月14日	9月16日
	8月2日	天のつぶ	662	9月13日	9月15日	9月17日
	8月5日		579	9月17日	9月19日	9月22日
	8月8日		495	9月21日	9月24日	9月26日
	8月9日	コシヒカリ	471	9月22日	9月25日	9月28日
	8月11日		420	9月25日	9月28日	10月1日
湖南	7月29日		748	9月9日	9月12日	9月15日
	8月2日	あきたこまち	647	9月15日	9月17日	9月20日
	8月4日		594	9月18日	9月20日	9月23日
	8月6日		541	9月21日	9月24日	9月27日
	8月8日		490	9月24日	9月27日	9月30日
	8月10日		443	9月27日	9月30日	10月3日
	8月12日		393	9月30日	10月3日	10月7日

* 「各積算気温の到達日」は、8月30日まで実測値、それ以降は平年値で算出。
なお、平坦地はアメダス郡山、湖南地区はアメダス猪苗代のデータで算出。

(2) 積算気温からの適期予想

出穂期以降の積算気温による刈り取りのめやすは、以下のとおりです。刈り遅れないよう準備を進めてください。今後の気温が平年並みに推移した場合の刈取適期は、平坦部ひとめぼれ、天のつぶは平年よりやや早く、コシヒカリは平年よりやや遅く、湖南地区のあきたこまちは平年よりやや遅いです。

950℃程度：ひとめぼれ、あきたこまち

1,000℃程度：天のつぶ

1,000～1,050℃程度：コシヒカリ

(3) 刈り遅れは品質低下の原因となります！

刈り遅れは、胴割れ米の発生や、玄米の光沢の低下、着色粒の増加など、品質を低下させます。

○ 放射性物質による汚染を防ぐため、土壌の糶への付着・玄米への異物混入を防止しましょう！

- ・作業前に機械、作業所の清掃を徹底して行ってください！
- ・倒伏した部分は泥がついている可能性があります。刈り分けるなど、別処理を実施してください。
- ・バインダ作業時は泥がつかないように雨天を避け、乾燥状態で行ってください。
- ・床に落ちた玄米は再投入せず、米袋は汚染のない新品を使用しましょう！

5 乾燥調製 ～丁寧に仕上げ、1等米比率の向上に努めましょう！～

- ① 乾燥機、籾摺り機等はよく掃除し、別の品種や異物が混ざらないように気をつけてください。
- ② クサネムは種子が混入しないよう、刈り取り前に抜き取ってください。
- ③ カメムシによる品質低下に注意しましょう。
- ④ 収穫後、直ちに乾燥機に張り込み、通風乾燥を行きましょう。
- ⑤ 高水分の生籾は乾燥機をいったん止め、乾燥ムラを防ぎましょう。
- ⑥ 仕上げ目標水分15.0%を守ってください。
- ⑦ 高温での籾摺りは肌ズレしやすいので注意してください。
- ⑧ 選別は、選別機の網目1.85mm以上を用い、機械の能力に合った流量を守ってください。
- ⑨ 計量器はあらかじめ点検し、決められた量目で袋詰めし、出荷してください。

6 大型機械を扱うことが多い時期です。農作業はあせらず、無理せず、安全に！

- ・コンバインの整備、運転、補助作業は細心の注意をして行ってください。
- ・台風時、増水時の用排水路の見回りも十分注意して行ってください。

巻き込まれ事故に注意しましょう！



「秋の農作業安全確認運動」重点推進期間中(9/1～10/31)

27年産米の全量全袋検査の御理解と御協力をお願い

昨年に引き続き、27年産米についても放射性セシウムの基準値を超えるものが販売用や食用に供されることが無いようにするため、販売米、縁故米、くず米等、生産された全ての玄米を対象として「全量全袋検査」を行います。

J Aや米穀出荷業者等で行う検査を受け、安全を確認した上で、米を販売、譲渡、消費されるようお願いいたします。

なお、27年産米用のバーコードラベル(オレンジ色)を現在発送しておりますので、誤って26年産米用のラベル(緑色)を貼付しないようご注意願います。

また、昨年作付していない(検査していない)方で、営農計画書を未提出のまま作付した方は、下記までご連絡をお願いします。

問い合わせ先

郡山市農業政策課 TEL 024-924-2201

○安全な28年産米の生産に向けて

- ・ばか苗病の発生が増えています！自家採種で発生しやすいため、必ず種子更新を行い、消毒種子を使用してください！
- ・収穫後の稲わらはほ場へ還元し、良質な土づくりに努めてください！